

「トリートメント・ギャップ」の解消を目指す!

基本知識・技術を知り、かかわる意欲を高め、実践できる

依存症回復支援研修

ソーシャルワークベース

「もしかしたら依存症かもしれない。どのようにかかわったらいいのだろう」
「かかわりたいけど一人では難しい」と、現場で悩んだり困ったりしてませんか。

依存症は、慢性で進行性の病です。放置すると、健康問題、貧困、家庭不和、自死、虐待、ドメスティックバイオレンス(DV)、介護、犯罪などの社会的問題が深刻化する可能性が高くなります。しかし、依存症は、「見ようとしなないと見えない」問題であることから治療や支援に結びつきにくく、悲惨な状況に陥りようやく病気と知ることもなくありません。

研修の目的は、このような「トリートメント(治療・支援)・ギャップ」の解消を目指し、都道府県等における依存症の支援に必要な人材養成を推進し、都道府県等において指導的な役割を果たす専門家を養成することです。

研修の到達目標は、アルコール・薬物・ギャンブル等を中心とする依存症全般の基本的な知識やソーシャルワークをベースにした**早期発見・早期介入の支援技術を知り、かかわる意欲を高め、実践できる**ようになることです。令和4年度は、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会が依存症対策全国センターより受託し、ソーシャルワーカー5団体が合同で主催します。

【研修日時】

オンデマンド視聴研修 2023年1月10日(火)~3月4日(土)12時59分まで

オンラインライブ演習 2023年3月4日(土)13時から17時まで~3月5日(日)10時から16時30分まで

【実施方法】Zoomによるオンライン研修

【研修プログラム】裏面参照

【定員】100名

【受講料】無料

【研修対象】

医療従事者(社会福祉士*、精神保健福祉士*、作業療法士、看護師、公認心理師等)、医療従事者以外のソーシャルワーカー* (*主催団体の会員以外の方も応募可)

【お申し込み資格】

- ①現在、現場で依存の課題を持つ患者、利用者、家族などに関わっている関わる可能性が高いこと。(特に、依存の支援環境が整っていない場に身を置いている)
- ②オンデマンド研修の受講完了後オンライン演習を受講できること
- ③研修前後に実施する効果測定(事前・事後課題、アクションプランなど)に協力できること

【受講決定について】

定員を超えた場合は、地域のバランスや職種・受講動機などを考慮して受講者を選考いたします。選考結果は、受付締切り後2週間以内にはがきで通知します。

◆受託団体 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会

◆企画・主催 汎用性の高い依存症支援の修得を目指すソーシャルワーカー関係団体協議会(一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)

◆効果測定 滋賀大学データサイエンス教育研究センター



【お申込み方法】*個人情報、本研修に関わる以外には使用しません。

日本医療ソーシャルワーカー協会ホームページ(URL、QRコード)からお申し込みください。

https://www.jaswhs.or.jp/education/workshop_list.php



【お申込み期間】2022年11月7日(月)~12月10日(土)23時59分まで

【修了証書】研修修了者には修了証書を授与します。

※所定時間を受講されていない方は、修了証書を交付できませんのでご注意ください。

※通信環境等により、研修の一部又は全部を受講できない場合、修了証が発行できない場合があります。このようなリスクを踏まえた上でご参加することを予めご了承ください。

【受講に必要な準備】

- ・インターネット環境(Wi-Fiではなく有線の回線を推奨)
- ・Zoomをインストールした、もしくはインストール可能なパソコン(必須)
- ・ヘッドセットまたはマイク付きイヤホン(ヘッドセット推奨・PC内蔵マイクも可)



【オンデマンド視聴研修 プログラム概要】

内容	時間	講師(予定)
1 アディクション SW 総論	(165分)	
①社会的問題とアディクション SW	30分	稗田 里香(武蔵野大学)
②依存症の医学的理解	90分	松本 俊彦(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)
③対象者理解	45分	岡村 真紀(高嶺病院)
2 アディクション SW 総論(回復支援)	45分	板倉 康広(日本福祉教育専門学校)
3 アディクション SW 各論	(180分)	
①アルコール依存	60分	松浦 千恵(安東医院)
②薬物依存	60分	永尾 奈生実(赤城高原ホスピタル) 引土 絵未(日本女子大学)
③ギャンブル等依存	60分	阿部 誠(雷門メンタルクリニック)
4 アディクションと家族	(90分)	
①家族介入	45分	高橋 陽介(久里浜医療センター)
②包括的な家族問題の理解と支援	45分	山本 由紀(国際医療福祉大学)

【オンラインライブ演習 プログラム概要】

3月4日(土)13:00~17:00【演習時間:180分】		
1	回復の体験を聴き回復を信じていることができる ~依存の回復の語りとグループワーク	コーディネーター:上堂 蘭 順代(アルコール依存症当事者・ASK 依存症予防教育アドバイザー) 秋元 恵一郎(薬物依存症当事者・東京ダルク) 佐伯 徹(ギャンブル依存症当事者・ASK 依存症予防教育アドバイザー) 大田 房子(依存症家族・おきなわ ASK)
3月5日(日)10:00~16:30【演習時間:330分】		
2	回復支援を始める~グループワークによる事例検討	コーディネーター:小関 清之(秋野病院) 企画:MHSW 協会依存症及び関連問題対策委員会
3	それぞれの現場にある依存症支援の実情を共有する ~シンポジウム(SW5 団体)~	コーディネーター:岡崎 直人(日本福祉教育専門学校) シンポジスト:小仲 宏典(ASW)、藤原 尚(JASW)、安藤 千晶(JACSW)、柏木 一恵(MHSW)、南本 宜子(MSW)
4	現場でできるアクション・プラン(実践目標)をたてる	佐原 まち子(WITH 医療福祉実践研究所)、稗田 里香

【お問合せ先】日本医療ソーシャルワーカー協会 事務局

電話:03-5366-1057 (月~金 10時~16時)

